

アンチドーピングセミナー

皆で知ろう正しい知識

2015年9月10日

公益財団法人神奈川県スキー連盟

競技本部長 吉野 大成

強化責任者 菊地 富士夫

世界アンチドーピング規定の改訂に伴い、公益財団法人日本アンチドーピング機構（JADA）は未成年者の競技者を対象としたドーピングコントロール（一連のドーピング検査に関わる事）実施において事前に親権者から「同意書」の署名を必要とし、全日本スキー連盟においても競技者管理登録と同時に「同意書」の提出が義務付けとなりました。

今まで「ドーピング」という言葉は耳にしたことがあると思いますが、近年ドーピングに関わる問題が年々増加しスポーツの発展を妨げていることも事実です。

禁止の理由としてスポーツの価値を否定する、フェアプレーの精神に反し、反社会的行為であり、自身の身体を破壊する事でもあります。

ドーピングコントロールは突発的に献体となるケースが殆どで、日頃から最も多い「うっかりドーピング」等の防止を防ぐためにも、選手、保護者の皆さんで、これを機会に細かい知識を学ぶことが求められており、当スキー連盟として下記の内容にて「アンチドーピングセミナー」を開催いたしますので、2015/2016シーズン競技者管理登録を済ませた未成年者は必ず参加するようお願いいたします。

記

開催日：2015年10月11日（日）

会場：県立スポーツ会館

住所 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 ☎045-311-0615

時間：13:00～15:00

受講対象：2015/2016SAJ競技者管理登録完了の未成年者

*小学生・中学生は保護者同伴

*育成選手・指定選手の参加は義務とします。

講師：金田 光正（JADA 公認 スポーツファーマシスト）

聖隷横浜病院 薬剤課薬局長

公益財団法人神奈川県体育協会スポーツ医科学委員会委員・競技力向上委員

内容：①ドーピングとは

②ドーピングはなぜいけないか

③禁止薬物が人体に及ぼす影響

④身近な禁止薬物

⑤検査になった時の選手の行動は

⑥その他

その他：準備の都合上9月末までに、受講者氏名・所属（学校単位・クラブ単位でも可）

を右記アドレスにご連絡ください。2w6c7r@bma.biglobe.ne.jp

問い合わせ先

菊地 富士夫

080-4178-9637